

支援だより

校長 篠崎 友誉

NO.2

令和3年7月20日発行

文責：三好 亮子

今回の支援だよりでは、「学校生活支援シートについて」「小学部進路学習（報告）」「第1回保護者学習会（報告）」「地域の施設情報」を掲載いたしました。ぜひお読みください。気になる情報等がありましたら、担任を通して、支援部までお気軽にお問い合わせください。

1 学校生活支援シートについて

「つながり」と「安心」のシート

学校生活支援シートは、子ども達の成長と、成長につながった支援や関係者をまとめたものです。子ども達と支援者の「つながり」を大切にしていきたいと考えています。学校では、保護者の皆様と作成、確認した支援シートを使って、教員間で児童・生徒の情報を共有したり、次の担任や支援先と引継ぎ会を実施したりします。御家庭でも、必要に応じて「家庭の支援」の見直しや、関係機関とお子様の様子や効果のあった支援の共有をしていただければと思います。

個別面談で必ず目にする「学校生活支援シート」は、保護者と学校と一緒に作成します！

期待や願い

こんな学校生活を送りたい
こんな大人になってほしい

氏名	学年	担当教員
平成 佑 先生		
支援担当氏名		
支援機関名		
支障の予備	支	(平成 年 月 日付)
支援手段	支	(平成 年 月 日付)
校長		

支援の目標

期待や願いを実現するための
目標（1～3年程度で達成）

学校の指導・支援 / 家庭の支援

支援者（学校と家庭）がそれぞれの役割を確認

支援機関の支援

お子さんの周囲にいる支援者
「つながり」の一覧

支援会議の記録

お子さんについて話したことも共有し、引き継ぐ

来年度への引継ぎ

効果のあった指導・支援を、保護者の参画のもと引き継ぐ

支援シートで共有した「目標や支援」が、個別指導計画の基本となります！ぜひ他の支援機関に見せていただき、情報や支援が共有できるよう、御協力をお願いします。

2 進路学習 報告

小学部 1 年「学校探検」

入学して3か月が経ち、いよいよ校内を探検に出発です。授業では体育館や音楽室など、自分たちの教室以外の教室も使っていますが、探検では校長室と経営企画室に行きました。初めて入る部屋で少し緊張した様子もありましたが「失礼します。」という挨拶や「どんなお仕事をしていますか。」などの質問をスイッチ操作や大きな声でできました。校長先生や経営企画室長の話を真剣な表情で聞いていました。当日は参加できなかった訪問の友達と事前学習で協力して作った「1年生新聞」をお礼の意味を込めて渡しました。また案内役のコーディネーター、三木先生には就業技術科の「Coai カフェ」についても教えていただきました。また一つ、楽しみが増えました。学校の広さを実感し、教室の先生以外にもお仕事をなさっている人がいることを知ることができた学習になりました。



小学部 2 年「学校探検」

「身近な人たちの仕事を知る」というねらいで、保健室、用務主事室、給食室を訪問して、校内での仕事について学習しました。事前学習では、各部屋の先生方の顔を確認し、「よろしくお願ひします」の気持ちを込めて挨拶状「2年生新聞」を作りました。探検当日は、進路専任の山村先生に引率していただき、各部屋の先生方に「2年生新聞」を渡して挨拶をしました。また、仕事の説明を受けながら、保健室では清浄綿や爪切り、用務主事室では大きな剪定ばさみや掃除機、モップ、給食室では食品図鑑を見せていただきました。保健室は就業技術科のお兄さん、お姉さん方も使っていること、時々廊下や中庭で見かける主事さんは校内をきれいにしてくれていること、毎日食べている給食は旬の食材を使って白い服を着た調理員さんが作っていることなどを知ることができました。



小学部 6 年「夏休みのしおり作り」

「夏休みのしおり作りを通して作業学習を体験し、仕事への興味関心をもつ」というねらいで、進路学習を2日間行いました。1回目の6月22日は、パソコン室でパソコンに大きなエンターキーのスイッチをつなぎ、進路専任の山村先生にやり方を教えていただいて、小学部全員分をプリンターで印刷しました。2回目の29日には、ステープラーで製本して、各学年に配布し、受領証を受け取りました。ステープラーで止めるときには、針の向きが用紙となるべく並行になるように注意して行いました。各教室を回って配布すると、お礼を言われて笑顔になっていました。作業学習を体験して興味をもったり、配布することを通して達成感や喜びを体験したりすることができました。欠席していた児童は、後日、スイッチ操作を体験しました。



3 第1回保護者学習会 報告

7月1日（木）に第1回保護者学習会「学校時代に大切にしてほしいこと」を本校の会議室で実施いたしました。「葛飾区重症心身障害児（者）を守る会」会長 三木 明子様をお招きして、以下のような内容でお話をさせていただきました。

11名の保護者の方々が参加されました（内、Teamsでの視聴5名）。

1. お子さんのこと

我が子の身体の様子について、御家庭での医療的ケアや生活に大変さを感じることもあったが、訪問看護師の方と話をすることで、気が楽になった。

2. 学校時代に大切にしたこと

学校は様々な経験ができる場所。書道の作品は今も額に入れて飾ってある。学校生活を終えた今、学校生活には様々な節目があった、体育祭など親子で楽しもうとすることが大事、と感じている。

学校生活以外の体験をさせるようにした。「ひまわり号」という障害者専用団体臨時列車を利用した日帰りの旅や療育キャンプに参加した。保護者の中で「リハビリ訓練会」を立ち上げ、土曜日に活動した。また、子どもたちが共通で楽しめることとして、コミュニティセンターを借りて講師や学生ボランティアを頼み、プールやフォークダンスを楽しんだ。また、PTA活動での施設見学やレクリエーション活動にも参加した。学年が離れた保護者同士で仲良くなった。

我が子は食事に課題があったが、出先では、食べることにエネルギーを使うと楽しめないと考え、食べることを無理しなかった。「豊かに生きる」ことを大切にした。

3. 卒業後の生活

通所を始めると、大人として扱われるようになった。体調を崩し、気管切開や胃ろうを考えることになり、19歳で胃ろうを造設した。その結果体調が良くなり投薬が減り、気管切開が不要になった。

通所以外の楽しみを見つけている。環七シャトルでヘルパーとディズニーリゾートの近くまで行ったり、東京都障害者休養ホーム事業を利用して家族で温泉（家族風呂）に行ったりしている。卒業したら、学校のような生活はない。家族と楽しむことが「栄養」になる。

4. 先人たちの活動があってこそ「今」

自立支援法ができたが、区は重症心身障害児（者）のことを分かってくれている訳ではない。地域で理解してくれる人を増やすことが大事だと考え、「葛飾区重症心身障害児（者）を守る会」を立ち上げた。よつぎ療育園や東部療育センターは、先人たちが署名活動をした結果出来上がったものである。子どもたちは、年齢を重ねると医療が必要となるケースが多い。自分のこととして考えて「今」を過ごしてほしい。

御参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。第2回、3回もぜひ御参加ください！

	開催日時	学習会のテーマ	講師
第2回	令和3年 11月4日（木）AM	学校と様々なサービス等を利用した 「生活づくり」（仮テーマ）	講師：若杉哲文様 （明治学院大学心理学部教育発達学 科特命教授／東京都就労支援アド バイザー）
第3回	令和4年 1月28日（金）AM	基礎から考えよう、我が子の進路（仮 テーマ）	講師：葛飾区福祉部障害福祉課の方 ※小学部から高等部2年生までの方 が対象です。

4 地域の施設情報



かなん 叶夢「叶夢珈琲&ヒーローカフェ」

叶夢（就労継続支援B型）では仕事として、コーヒー豆の自家焙煎を行っています。「叶夢&ヒーローカフェ」を運営しており、コーヒーを飲んだり、スイーツを楽しんだりできます。また、コーヒー豆やヒーローグッズの販売をしています。毎月第1土曜日には「叶夢珈琲マルシェ」として営業しています。運が良ければ、叶夢のヒーローキャラ「カナン」に会うことができるかもしれません。

<場所>

葛飾区南水元2-23-20 1階

<営業時間>

平日・第1土曜日 10時から16時



しょうぶエバンズ

「ピエトン カフェ エヴァン」

しょうぶエバンズ（就労移行支援・就労継続支援B型）では、日中活動の場としてパン・菓子の作製と販売を行っています。2/12～20に「第3回かつしかグルメ選手権 J aぱんカップ2021(ナッツ&ドライフルーツパンのナンバー1を決めよう!）」に「クルミシナモンロール」を出品したところ、865個を売り上げて、優勝しました。

<場所>

葛飾区奥戸1-1-1

<営業時間>

平日 9時から15時